



## 相生町総合学術調査報告書発刊に寄せて

相生町長 久 龍 直 通

この度、阿波学会による相生町総合学術調査の結果がまとまり、その報告書が発刊される運びとなりました。ここに、心からお慶びとお礼を申し上げます。

平成12年度に相生町が阿波学会総合学術調査の対象となり、平成12年7月26日に相生町ふるさと交流館において結団式が挙行され、22班という多くの調査団により広範な分野にわたり、専門的に精緻な学術調査をして頂きました。猛暑の中、又、雨中夜間をとわず町内くまなく踏査され、多くの人々にも面談調査されるなど、筆舌に尽くせる御苦勞があったものと拝察いたします。調査期間中、町として充分なお世話が出来なかった事を恐縮しておりますが、調査団の皆様の熱意と町民各位の御協力により調査が無事終了いたしました。阿波学会、県立図書館の関係者並びに町民各位のご努力とご協力に対し、衷心より敬意を表し感謝申し上げます。21世紀の新しい時代に入り、生活環境、産業構造等の社会環境が大きく変わろうとしている時を迎え、「新しい時代の町づくり」「新しい文化の創造」には私達の生活基盤である、自然や風土の立地条件の実態をよく知りながら、先人が築いて来た文化を正しく理解し、「古き良き時代」の文化や伝統を継承して、町づくりに取り組んでいかなければなりません。今回の学術調査は、こうした観点から本町の動植物群や郷土の歴史や文化、地質・地理、あるいは郷土に対する住民の意識調査と幅広い分野にわたって調査され、学問的に体系づけをしていただきましたことは、本町の全容を知る貴重な資料となり大切な文献となりました。これを大いに活用し、町づくりの指針となる指導書として手ばなせないものであります。

終わりにになりましたが、阿波学会並びに県立図書館のますますのご発展と学会会員の皆様方のいっそうのご活躍、ご健勝をご祈念申し上げまして、発刊のお祝いとお礼のごあいさつといたします。